



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社レントラックス
 コード番号 6045 URL <http://rentracks.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 梶尾 幸介

TEL 03-3878-4159

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,350	30.0	475	165.2	479	170.3	218	268.1
2020年3月期	9,500	8.7	179	65.2	177	65.6	59	78.7

(注) 包括利益 2021年3月期 244百万円 (583.4%) 2020年3月期 35百万円 (87.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	27.80	27.80	10.1	10.7	3.9
2020年3月期	7.54	7.53	2.8	4.6	1.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,092	2,252	44.2	285.71
2020年3月期	3,859	2,078	53.8	263.68

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,250百万円 2020年3月期 2,076百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	484	31	363	2,600
2020年3月期	237	281	75	1,741

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		9.00	9.00	70	119.4	3.4
2021年3月期		0.00		9.00	9.00	70	32.4	3.3
2022年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		25.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,035		307	102.5	302	110.0	170	223.5	21.61
通期	2,224		618	30.1	608	27.0	309	41.5	39.33

翌連結会計年度2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用予定であり、当該基準に基づいた予想値となっております。このため、当該基準適用前の2021年3月期の売上高の実績値に対する増減率は記載しておりません。当該基準適用後の通期増減率につきましては、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」および以下をご参照ください。

[参考]
下記の%表示(調整後増減率)は、当社並びに連結子会社の当期業績(2021年3月期)を「収益認識基準に関する会計基準」等を適用した数値に合わせて2022年3月期の業績予測と比較した増減率です。なお、取扱高は当該基準適用前の2021年3月期の売上高に近似する金額となります。

	取扱高		売上高	
	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	6,697	15.2%	1,035	48.4%
通期	13,726	11.1%	2,224	32.2%

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	7,975,800 株	2020年3月期	7,975,800 株
期末自己株式数	2021年3月期	100,343 株	2020年3月期	100,343 株
期中平均株式数	2021年3月期	7,875,457 株	2020年3月期	7,891,224 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	11,748	29.3	572	105.3	577	110.9	222	664.7
2020年3月期	9,086	8.0	278	51.6	274	52.3	29	88.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	28.30	28.30
2020年3月期	3.69	3.69

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,869	2,182	44.8	276.84
2020年3月期	3,738	2,014	53.8	255.58

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,180百万円 2020年3月期 2,012百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日）におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦の深刻化や海外経済に減速の動きがみられるなど不透明感が強まる中、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、世界経済の先行きに対する不透明感はより一層大きくなってきております。

このような経済状況のもと、株式会社電通グループの「2020年日本の広告費」によれば、2020年の日本の総広告費は6兆1,594億円と、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年比88.8%となりましたが、その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が1兆7,567億円（前年比105.6%）と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車買取、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高12,350,105千円（前期比130.0%）、営業利益475,839千円（同265.2%）、経常利益479,344千円（同270.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は218,904千円（同368.1%）となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が11,614,394千円（同130.2%）、検索連動型広告代行事業が262,454千円（同61.8%）、その他の事業が473,255千円（同298.9%）となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が1,178,304千円（同115.9%）、検索連動型広告代行事業が32,031千円（同70.1%）、その他の事業が243,584千円（同181.6%）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は5,092,252千円となり、前連結会計年度末と比較して1,232,568千円の増加となりました。これは現金及び預金が861,018千円、売掛金が267,926千円、商品及び製品が117,414千円増加したこと等が主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は2,840,074千円となり、前連結会計年度末と比較して1,059,005千円の増加となりました。これは買掛金が305,988千円、短期借入金が442,985千円、未払法人税等が148,945千円、長期借入金が70,012千円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は2,252,177千円となり、前連結会計年度末と比較して173,562千円の増加となりました。これは親会社に帰属する当期純利益が148,025千円、その他有価証券評価差額金が15,485千円、為替換算調整勘定が10,029千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ858,816千円増加し、2,600,478千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、営業活動により獲得した資金は484,706千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益(392,243千円)、固定資産除却損(38,771千円)、投資有価証券評価損(48,330千円)を計上し、仕入債務の増加(303,258千円)、その他負債の増加(31,280千円)による増額があった一方、売上債権の増加(253,351千円)、たな卸資産の増加(117,270千円)による減額等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、投資活動により使用した資金は31,895千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出(21,436千円)、関係会社株式の取得による支出(10,000千円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、財務活動により獲得した資金は363,781千円となりました。これは主に短期借入金の増加(343,832千円)、長期借入れによる収入(100,000千円)があった一方、長期借入金の返済による支出(9,996千円)、配当金の支払額(70,055千円)があったためであります。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2021年3月度)		翌連結会計年度 (2022年3月度)		増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
取扱高 ※1	12,350	—	13,726	—	11.1
売上高 ※2	1,682	100.0	2,224	100.0	32.2
営業利益	475	28.3	618	27.8	30.1
経常利益	479	28.5	608	27.4	27.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	23.31	309	24.7	41.5
1株当たり当期純利益 (円)	27.80	—	39.33	—	41.5

※1 取扱高は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等適用前の2021年3月期の売上高に近似する金額です。

※2 当連結会計年度の売上高は、当社並びに連結子会社の当期業績(2021年3月期)に「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用したと仮定して算定した金額です。

当社グループは、今後も継続的に優秀な人材の確保に努め、主力の成果報酬型広告サービス事業における新規分野の広告主に対して更なる営業強化を図り、業界におけるシェアの拡大に引き続き取り組んでまいります。

また国内及び海外における子会社において、グループ全体の業績向上に寄与すべく、グローバルな営業活動の推進を継続して参ります。

次期の連結業績予想は、売上高2,224百万円(前期比132.2%)、営業利益618百万円(同130.1%)、経常利益608百万円(同127.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益309百万円(同141.5%)と予想しております。

なお、翌連結会計年度2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用予定であり、当該基準に基づいた予想値となっております。

当社グループにおきましては、当連結会計年度まで成果報酬型広告サービス事業及び検索連動型広告代行事業に係る取引において、売上高に顧客への請求額、売上原価にアフィリエイト報酬及び媒体費を計上しておりましたが、当該会計基準適用後は、これらを代理人取引と判断し、両者を相殺した金額を売上高として計上して参ります。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、現時点で想定されるコロナウイルス感染拡大の影響を見込んで作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（I F R S）の適用時期につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,759,092	2,620,110
売掛金	1,366,280	1,634,207
商品及び製品	9,419	126,833
原材料及び貯蔵品	255	663
前払費用	40,672	92,226
その他	101,173	69,933
貸倒引当金	△4,272	△1,434
流動資産合計	3,272,622	4,542,539
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,130	1,130
減価償却累計額	△1,039	△1,087
建物(純額)	90	42
車両運搬具	—	5,596
減価償却累計額	—	△621
車両運搬具(純額)	—	4,974
工具、器具及び備品	8,637	39,536
減価償却累計額	△6,066	△24,062
工具、器具及び備品(純額)	2,570	15,474
建設仮勘定	21,120	—
有形固定資産合計	23,781	20,491
無形固定資産		
のれん	1,862	40,301
その他	5,787	9,311
無形固定資産合計	7,650	49,612
投資その他の資産		
投資有価証券	464,194	436,487
関係会社株式	55,020	10,000
繰延税金資産	17,815	16,059
その他	33,860	37,533
貸倒引当金	△15,259	△20,472
投資その他の資産合計	555,630	479,608
固定資産合計	587,062	549,712
資産合計	3,859,684	5,092,252

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	924,719	1,230,708
短期借入金	707,655	1,150,640
未払法人税等	8,766	157,712
賞与引当金	21,300	21,300
その他	118,627	208,790
流動負債合計	1,781,068	2,769,151
固定負債		
長期借入金	—	70,012
退職給付に係る負債	—	911
固定負債合計	—	70,923
負債合計	1,781,068	2,840,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,096	440,096
資本剰余金	346,096	346,096
利益剰余金	1,377,324	1,525,350
自己株式	△54,749	△54,749
株主資本合計	2,108,766	2,256,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,262	13,223
為替換算調整勘定	△29,925	△19,896
その他の包括利益累計額合計	△32,187	△6,673
新株予約権	2,036	2,057
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,078,615	2,252,177
負債純資産合計	3,859,684	5,092,252

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,500,237	12,350,105
売上原価	8,303,363	10,896,184
売上総利益	1,196,874	1,453,920
販売費及び一般管理費	1,017,461	978,080
営業利益	179,412	475,839
営業外収益		
受取利息	1,000	585
為替差益	56	7,075
仕入割引	—	3,306
その他	2,587	5,806
営業外収益合計	3,644	16,772
営業外費用		
支払利息	3,232	7,663
投資事業組合運用損	2,054	1,696
その他	430	3,907
営業外費用合計	5,717	13,268
経常利益	177,340	479,344
特別損失		
固定資産除却損	—	38,771
投資有価証券評価損	22,500	48,330
特別損失合計	22,500	87,101
税金等調整前当期純利益	154,840	392,243
法人税、住民税及び事業税	70,972	178,416
法人税等調整額	24,401	△5,078
法人税等合計	95,373	173,338
当期純利益	59,466	218,904
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	59,466	218,904

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	59,466	218,904
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△21,438	10,029
その他有価証券評価差額金	△2,262	15,485
その他の包括利益合計	△23,700	25,514
包括利益	35,766	244,419
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	35,766	244,419
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額			新株予 約権	非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	439,925	345,925	1,381,014	△34,768	2,132,097	—	△8,487	△8,487	1,198	0	2,124,808
当期変動額											
新株の発行 (新株予約権の 行使)	170	170			340						340
剰余金の配当			△63,157		△63,157						△63,157
親会社株主に帰属 する当期純利益			59,466		59,466						59,466
自己株式の取得				△19,980	△19,980						△19,980
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)						△2,262	△21,438	△23,700	838		△22,862
当期変動額合計	170	170	△3,690	△19,980	△23,330	△2,262	△21,438	△23,700	838	—	△46,193
当期末残高	440,096	346,096	1,377,324	△54,749	2,108,766	△2,262	△29,925	△32,187	2,036	0	2,078,615

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額			新株予 約権	非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	440,096	346,096	1,377,324	△54,749	2,108,766	△2,262	△29,925	△32,187	2,036	0	2,078,615
当期変動額											
新株の発行 (新株予約権の 行使)											—
剰余金の配当			△70,879		△70,879						△70,879
親会社株主に帰属 する当期純利益			218,904		218,904						218,904
自己株式の取得											—
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)						15,485	10,029	25,514	21		25,536
当期変動額合計	—	—	148,025	—	148,025	15,485	10,029	25,514	21	—	173,562
当期末残高	440,096	346,096	1,525,350	△54,749	2,256,792	13,223	△19,896	△6,673	2,057	0	2,252,177

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	154,840	392,243
減価償却費	3,152	5,950
のれん償却額	465	9,504
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,054	1,696
固定資産除却損	—	38,771
株式報酬費用	838	75
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,609	2,374
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,080	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	22,500	48,330
受取利息	△1,000	△585
支払利息	3,232	7,663
売上債権の増減額 (△は増加)	△252,739	△253,351
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,879	△117,270
前払費用の増減額 (△は増加)	26,786	△39,885
仕入債務の増減額 (△は減少)	108,740	303,258
未払金の増減額 (△は減少)	△3,023	51,979
その他の資産の増減額 (△は増加)	△55,186	14,840
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,704	31,280
小計	△15,453	496,876
利息の受取額	1,000	585
利息の支払額	△3,232	△7,663
法人税等の支払額	△219,996	△5,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	△237,681	484,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,292	△21,436
無形固定資産の取得による支出	△3,100	—
投資有価証券の取得による支出	△192,583	—
関係会社株式の取得による支出	△55,020	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△2,533	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,761	902
定期預金の預入による支出	△7,380	△1,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,147	△31,895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,797	343,832
株式の発行による収入	340	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	—	△9,996
自己株式の取得による支出	△19,980	—
配当金の支払額	△63,178	△70,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,021	363,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,099	11,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△610,951	827,696
現金及び現金同等物の期首残高	2,352,612	1,741,661
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	31,119
現金及び現金同等物の期末残高	1,741,661	2,600,478

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容に基づき包括的な戦略を立案し、事業活動を展開していることから、事業内容を基礎としたセグメントから構成されており、「成果報酬型広告サービス事業」、「検索連動型広告代行業業」を報告セグメントとしております。

「成果報酬型広告サービス事業」とは、広告主と広告掲載媒体との間での成功報酬額の調整、確定した成功報酬の回収・支払管理等を行う事業であります。「検索連動型広告代行業業」とは、検索連動型広告の取次代理及び適切なキーワードの選定・管理や出稿時期の調整などの運用代行を行う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	連結財務諸表計 上額(注3)
	成果報酬型広告 サービス事業	検索連動型広告 代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,917,253	424,667	9,341,921	158,316	9,500,237
計	8,917,253	424,667	9,341,921	158,316	9,500,237
セグメント利益	1,017,013	45,709	1,062,723	134,150	1,196,874

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため、記載していません。

3 セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の売上総利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	連結財務諸表計 上額(注3)
	成果報酬型広告 サービス事業	検索連動型広告 代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,614,394	262,454	11,876,849	473,255	12,350,105
計	11,614,394	262,454	11,876,849	473,255	12,350,105
セグメント利益	1,178,304	32,031	1,210,336	243,584	1,453,920

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため、記載していません。

3 セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の売上総利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	263.68円	285.71円
1株当たり当期純利益金額	7.54円	27.80円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	7.53円	27.80円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	59,466	218,904
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	59,466	218,904
期中平均株式数(株)	7,891,180	7,875,457
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整 額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,399	—
(うち新株予約権(株))	(1,399)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第9回新株予約権 (新株予約権の数65個(普通株式 6,500株)) 第10回新株予約権 (新株予約権の数390個(普通株式 39,000株))	第9回新株予約権 (新株予約権の数54個(普通株式 5,400株)) 第10回新株予約権 (新株予約権の数330個(普通株式 33,000株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。